



## 棚田に関するイベントを開催します

新潟県では、佐渡市と佐渡棚田協議会と協力して、令和7年度を「にいがた棚田みらい元年」と位置づけ、『棚田日本一』の魅力を県内外に広くPRするため、幅広く取組を展開してきました。令和8年度、新たな展開としてインバウンド誘客を図るため、「棚田インターナショナル」を実施します。

また、小学生を対象とした地元の棚田での体験学習「棚田教室」も開催します。

### 記

#### 1 「棚田インターナショナル」

日時: 令和8年5月9日(土)~10日(日)2日間

場所: 歌見の棚田ほか市内各所

詳細: 別紙【新潟県報道資料】棚田インターナショナルをご参照ください。

#### 2 「棚田みらい応援団」

日時: 令和8年5月10日(日)午前9:40~正午

場所: 歌見の棚田

詳細: 別紙【新潟県報道資料】棚田みらい応援団(佐渡市歌見)をご参照ください。

#### 3 「棚田教室」

日時: 令和8年5月11日(月)

場所: 達者の棚田

詳細: 別紙【新潟県報道資料】棚田教室(佐渡市達者)をご参照ください。

\*取材いただける場合は、事前に新潟県農地部農村環境課(担当)堂馬 (直通)025-280-5835までご連絡をお願いいたします。

本件についての問合せ先  
佐渡市役所農林水産部農業政策課  
トキ里山振興係 担当: 佐々木  
電話(直通)0259-63-5117





## 棚田を舞台にした体験型観光のモニターツアー 「棚田インターナショナル」を実施します

県では、令和 7 年度を「にいがた棚田みらい元年」と位置づけ、「ガチ棚」や「フォトコンテスト」などの取組を通じて、棚田の保全・活用と地域の魅力発信を進めてきました。

令和 8 年度は、新たな展開として、新潟の農林水産資源を活かしたインバウンド誘客を図るため、棚田での農作業体験を核に、山・海の幸や地場産業を組み合わせた体験型観光の可能性を探るモニターツアー「棚田インターナショナル」を実施します。

※ モニターは、台湾、中国、インドネシア、ドイツといった多様な国・地域から選定しています。

### 1 日時および開催場所

令和 8 年 5 月 9 日（土）～10 日（日） 2 日間  
新潟県佐渡市（「歌見の棚田」ほか佐渡島内各地）

### 2 主催・協力

主催：新潟県、協力：佐渡市

### 3 主なプログラム（予定）

- |              |  |
|--------------|--|
| 【世界遺産／歴史探訪】  | 佐渡金山の繁栄と棚田開発のつながりを学ぶ！                          |
| 【棚田田植え体験】    | 棚田農家と一緒に！絶景・棚田での田植え体験                          |
| 【日本酒体験／酒蔵文化】 | 棚田米から生まれる佐渡の SAKE をブレンド！<br>自分だけのオリジナル日本酒づくり体験 |
| 【漁業体験】       | 漁師と一緒に！朝の網引き漁体験                                |
| 【収穫・スイーツ体験】  | 農園でのイチゴ摘み&パフェづくり体験                             |
| 【絶景ランチ／交流】   | 海を望む棚田で味わう山海の幸！<br>「漁師×棚田農家」との交流ランチ            |

※ 詳細は別紙 1 を参照ください。

### 4 取材について

取材を希望される場合は、5月7日（木）正午までに、別紙 2 により メール 又は FAX にてご報告ください。

本件についてのお問合せ先  
農地部農村環境課（担当） 参事 堂馬  
（直通）025-280-5835 （内線）3171

# 別紙 1

## 【2026/5/9～10' 棚田インターナショナル 行程表】



| Date             | 活動時間表  | 昼食           |
|------------------|--|--------------|
| 2026/5/9<br>(土)  | <p><b>【ジェットfoil】 7:55 新潟港 → 両津港 9:02</b></p> <p>→ 佐渡汽船両津港ターミナル発 → きらりうむ</p> <p>→ 佐渡金山 → 持田家（昼食） → 尾畑酒造 学校蔵</p> <p>→ 斎藤農園（いちご狩り） → 佐渡しいざき温泉 ホテルニュー桂 着</p>                                       | 古民家食堂<br>持田家 |
|                  |  | 夕食           |
|                  |  | ホテルニュー桂      |
| 2026/5/10<br>(日) | <p><b>ホテルニュー桂 チェックアウト (7:20)</b></p> <p>→ ホテル発 → (株) ニッスイサーモン（水揚げ見学） → 浦川漁港（漁業体験）</p> <p>→ 歌見の棚田（棚田保全活動） → 昼食@棚田</p> <p>→ 棚田発 → 佐渡汽船両津港ターミナル着</p> <p><b>【ジェットfoil】 14:35 両津 → 新潟 15:42</b></p> | 昼食           |
|                  |  | 歌見の棚田        |
|                  |  | 夕食           |
|                  |  | —            |

※現時点の案であり、今後、変更の可能性がります。



## 別紙 2

※5月7日（木）正午までにメール又はFAXでご連絡ください。

新潟県農地部農村環境課 行き

(FAX : 025-256-8425)

(E-mail : [ngt070050@pref.niigata.lg.jp](mailto:ngt070050@pref.niigata.lg.jp))

### 棚田インターナショナル（5月9日（土）～10（日）） 取材申込書

#### ■取材申込概要について

担当職員の指示に従うとともに、地域のマナー遵守にご協力をお願いします。

| 社名 | (ふりがな)<br>お名前 | 取材日<br>及び<br>人数 | ムービー<br>カメラ台数 | 緊急連絡先<br>(携帯) |
|----|---------------|-----------------|---------------|---------------|
|    |               |                 |               |               |
|    |               |                 |               |               |

注) お名前欄には、代表者をご記入ください。

ご連絡先 TEL \_\_\_\_\_

FAX \_\_\_\_\_



## ～企業 SDGs活動による棚田保全活動～

“棚田みらい応援団”が佐渡市歌見地区の  
棚田で保全活動を行います

県では、棚田保全活動に参加していただける企業や学生ボランティアを「棚田みらい応援団」として募集し、棚田での営農作業や環境整備活動等を支援しています。

本取組は、農作業の支援や協働作業を通じて都市と農村との交流を促進し、棚田の保全と地域の活性化を図ることを目的としています。

つきましては、下記のとおり棚田みらい応援団の活動を行います。

## 記

- 1 日 時：令和8年5月10日（日）午前9時40分から正午頃まで
- 2 活動地域：佐渡市歌見地区『つなぐ棚田遺産』認定棚田 No. 60  
集合場所：佐渡市歌見地区  
集合時間：午前9時40分
- 3 作業内容：棚田の田植え
- 4 参加団体  
佐渡汽船株式会社、佐渡測量株式会社、日本航空株式会社新潟支店、TOPPAN 株式会社  
東日本旅客鉄道株式会社新潟支社、三井住友海上エイジェンシー・サービス株式会社
- 5 その他
  - ・添付資料（陸・海・空の交通事業者三社による共同リリース）
  - ・荒天等により中止する場合があります。
  - ・当日の取材にあたっては、上記集合時刻までにお集まりください。



## 【本件についてのお問合せ先】

農地部農村環境課

中山間地域対策推進係

担当：池田、石川

電話：025-280-5367（内 3176）

当日の連絡先：070-3996-0944

(共同リリース)

2026年4月22日  
東日本旅客鉄道株式会社 新潟支社  
佐渡汽船株式会社  
日本航空株式会社 新潟支店

## 陸・海・空の交通事業者 3社が今年も棚田応援団として連携 2026年の棚田保全活動(田植え)実施について ～人と生きものの共生を目指す佐渡島、トキも人も健やかに暮らせる土地に～

東日本旅客鉄道株式会社 新潟支社(執行役員新潟支社長 白山弘子)と佐渡汽船株式会社(代表取締役社長 尾渡英生)、日本航空株式会社 新潟支店(支店長 安田美智子)の交通事業者3社は、新潟県が後継者不足に悩む棚田の保全と維持管理に取り組んでいる「棚田みらい応援団」の活動に2026年も参加します。



佐渡市歌見(うたみ)地区(「つなぐ棚田遺産」(\*1))での棚田保全活動は、今年で3年目を迎えます。この活動の大きな特徴は、佐渡の民話「鬼の田植え」にちなみ、参加者が鬼の角や衣装を身にまとうって田植えを行う姿は、単なる農作業の枠を超え、笑顔あふれる交流の場として、関係人口の創出や地域活性化に大きく寄与しています。この活動は、おいしい米作りだけでなく、美しい景観を守り、森林の環境保全活動に貢献し、地域の暮らしを災害から守ることに役立っています。棚田は、山間地特有の寒暖差や清水を活かして良質なお米をつくり、やすらぎのある美しい景観を形成するだけでなく、土地の傾斜や貯水機能により、洪水や地すべりなど、下流域に影響を及ぼす災害を未然に防止します。また、棚田に生息する生き物の生態系維持につながり、森林などの環境保全・国土保全の観点でも大きな役割を担っており、SDGsの取り組みによる、棚田地域の営農活動・地域活性化を支援しています。

「佐渡島の金山」がユネスコ世界文化遺産に登録され、金山とともに歩んできた棚田の価値にも改めて注目が集まっています。3社は、こうした歴史と自然が織りなす佐渡の魅力をも未来へつなぐため、地域の皆さまと協働しながら2026年も持続可能な地域づくりと関係人口の創出に貢献してまいります。

### 【「棚田みらい応援団」活動概要】

場 所：新潟県佐渡市歌見地区 (「つなぐ棚田遺産」認定棚田 No. 60)

作業内容：棚田の田植え

作業日時：2026年5月10日(日) 9時40分～12時頃まで

参加団体：東日本旅客鉄道 新潟支社、佐渡汽船、日本航空 新潟支店 他



(\*1)棚田地域の振興に関する取り組みを積極的に評価し、棚田地域の活性化や棚田の有する多面的な機能に対する理解を得ることを目的として、優良な棚田を認定する農林水産省の取り組み。現在、新潟県内の棚田は農林水産省の「つなぐ棚田遺産」に8市町36地区が選定され、地域の文化と景観を象徴する存在となっています。

小学生を対象とした棚田体験学習「棚田教室」を実施します

県では、小学生を対象に、棚田の保全や維持管理活動への興味・関心を高めることを目的として、市町村教育委員会と連携した体験型の学習活動「棚田教室」を実施します。

本事業は、佐渡市内の小学校3校で実施することとしており、今回は佐渡市立相川小学校の小学校4年生を対象に、「達者の棚田」をフィールドとした体験学習を行います。

1 日 時

令和8年5月11日（月）

※雨天の場合は、5月12日（火）に順延

2 開催場所

佐渡市立相川小学校

新潟県佐渡市 達者の棚田

3 主 催

新潟県

4 協 力

佐渡市、佐渡棚田協議会、達者地域づくりの会、佐渡市立相川小学校

5 内 容

棚田における田植え体験 等



6 取材について

取材を希望される場合は、5月7日（木）正午までに、別紙1によりメール又はFAXにてご報告ください。

本件についてのお問合せ先  
農地部農村環境課（担当）参事 堂馬  
（直通）025-280-5835 （内線）3171

# 別紙 1

※5月7日（木）正午までにメール又はFAXでご連絡ください。

新潟県農地部農村環境課 行き

(FAX : 025-256-8425)

(E-mail : [ngt070050@pref.niigata.lg.jp](mailto:ngt070050@pref.niigata.lg.jp))

## 棚田体験学習「棚田教室」(5月10日(月)) 取材申込書

### ■取材申込概要について

担当職員の指示に従うとともに、地域のマナー遵守にご協力をお願いします。

| 社名 | (ふりがな)<br>お名前 | 取材<br>人数 | ムービー<br>カメラ台数 | 緊急連絡先<br>(携帯) |
|----|---------------|----------|---------------|---------------|
|    |               |          |               |               |
|    |               |          |               |               |

注) お名前欄には、代表者をご記入ください。

ご連絡先 TEL \_\_\_\_\_

FAX \_\_\_\_\_